

< イベントレポート >

おいでまい祝祭2022

瀬戸内国際芸術祭 2022 県内周遊事業「おいでまい祝祭2022」
高松エリアからは讃岐の食を発信
金刀比羅宮の狛犬がヤノベケンジ氏の”KOMAINU”に
高松と琴平を繋ぐラッピングバスにも力強いアート

瀬戸内国際芸術祭 2022 県内周遊事業「おいでまい祝祭2022 ～心がつながる街ごととアート～」秋会期が、9月29日（木）～11月6日（日）まで開催されます。秋会期では、金刀比羅宮・琴平町が加わり高松～琴平地区までエリアを拡充し、アートや食を楽しむイベントが行われます。会期スタートに伴い、9月26日（月）食やアートにまつわるお披露目会がWeBase 高松と金刀比羅宮にて開催されました。



おいでまい祝祭2022 秋会期 イベント概要

開催日時：9月26日(月)11：00～14：30

< イベント詳細 >

- WeBase 高松 ラウンジにて/ 秋会期全体の説明、アートの展示と食イベント
- ラッピングバスにて琴平地区へ移動/ 日帰りバスツアー、メタバスの取り組みなど
- 金刀比羅宮にて/宮司ご挨拶とヤノベ氏展示作品公開

< 登壇者/順不同 >

WeBase 高松 総支配人 渡邊幸雄
 株式会社瀬戸内アートコレクティブ 代表取締役 片倉恒
 現代美術家 金孝妍
 彫刻家 大間光記
 WeBase 高松 副支配人 金藤大弥
 現代美術作家 ヤノベケンジ
 株式会社 No Code 代表取締役社長 兼 Chef+(プラス)
 米澤文雄
 金刀比羅宮 宮司 琴陵泰裕
 琴平バス株式会社 代表取締役 CEO 楠木泰二郎
 琴平町 町長 片岡英樹
 琴平町観光協会 会長 漆原康博



オープニング～高松エリア

おいでまい祝祭2022 秋会期のレセプションは高松エリアからスタートし、WeBase 高松のラウンジにてWeBase 高松 総支配人 渡邊幸雄（ワタナベユキオ）氏から秋会期全体の開催プログラムについて説明されました。

その後、今回のアートマネジメントを担当した株式会社瀬戸内アートコレクティブ 代表取締役 片倉恒（カタクラヒサシ）氏と現代美術家金孝妍（キムヒョヨン）氏、彫刻家大間光記（オオマミツノリ）氏によるアート鼎談が行われました。そして10月1日よりWeBase 高松ラウンジにて開催される、アートと食のプログラム「SANUKI EMERGING DINING 2022(サヌキ エマージング ダイニング)～日替わりシェフのレストラン」について WeBase 高松 副支配人 金藤大弥（カネトウヒロヤ）氏よりプログラムの詳細説明が行われました。さらにスペシャルゲストには株式会社 No Code 代表取締役社長 兼 Chef+(プラス)の米澤文雄（ヨネザワフミオ）シェフが登場し、米澤シェフから讃岐の食に対する想いをお話いただき、香川県の特産品「讃岐キャビア」を使った絶品のエクレアをお披露目いただきました。

WeBase 高松 総支配人 渡邊幸雄氏より秋会期全体のご案内

おいでまい祝祭は、コロナ禍の今、“芸術が持つストレートな力で、人と人、心と心を繋げていくこと”を目指し、「心がつながる街ごとアート」をテーマに掲げ、秋会期では、「食」と「アート」と2つのコンテンツをお届けいたします。食では、現代を代表するスターシェフ「米澤文雄氏」のレストランが2日間限定でWeBaseにオープンいたします。また、ローカルスターシェフ・地元愛が溢れる若手シェフのレストランも日替わりでお楽しみいただけます。アートでは、金刀比羅宮の境内にて、現代美術作家ヤノベケンジ氏の

「KOMAINU - Guardian Beasts - 」とヤノベ氏が和紙作家堀木エリ子氏と制作された「SHIP'S CAT (Thinker)」「SHIP'S CAT (Sleeper)」を展示されます。また高松丸亀町壱番街3町ドームに現代美術家金孝妍氏の巨大バルーンオブジェ「息時計」が浮かび、アーティストの息が詰まったバルーンがしばみながら動く、作品をお楽しみいただけます。

そして、香川町にある結婚式場「ザ・チェルシー」では、『ザ・ニックダイニング』に会場を海底に見立て、そこに差し込む光を表現した美術家藏本秀彦（クラモトヒデヒコ）氏の作品を展示、『ザ・リチャード』では瀬戸内の風景からインスピレーションを受けて石を海に浮かぶ島として表現した彫刻家大間光記氏の作品を展示いたします。多くの方々がご用意したコンテンツに触れられて、心が安らぎ、癒され、人と人、心と心が繋がっていくことを願っております。



株式会社瀬戸内アートコレクティブ 代表取締役 片倉 恒氏 現代美術家金孝妍氏、彫刻家大間光記氏によるアート鼎談

株式会社瀬戸内アートコレクティブ 代表取締役の片倉恒氏よりご挨拶

私たちは瀬戸内を拠点に活動するアートマネジメント並びにアーティストのネットワーク体として、地域社会へ現代アートを浸透させる取り組みを推進しています。地域社会とアーティストの間にパートナーシップを創り出し秋会期が始まろうとしているところであちこちに作品を展示していますので是非お楽しみいただきたいです。たくさんのお作品の中でも非常に大きな作品を展示しているお二人にお越しいただきました。



片倉恒氏



金孝妍氏



大間光記氏

現代美術家 金孝妍氏より

「息時計」という作品は、上下円錐形が向き合っている状態で、上部のところに自分の息を溜めたバルーンをいくつか入れています。バルーンは約1ヶ月でしぼみ、小さくなると下の方に落ちる構造になっています。砂時計をイメージしていただくとわかりやすいかと。ただし、一般的に考える時間という概念とは違います。自分の息を溜めたバルーンは個人的な感じがしますが、「息」は見えない空気で充満していて、私達だけではなく、動植物などとも共有しています。その区切りのない空気を私の息としてバルーンに展示期間中、留めて、環境と作用し、また区切りのない空気へ戻ります。そのプロセスはこの作品が置かれる場所との環境や状況に応じて「変化」を視覚化しています。その変化を「息時計」で示す「時間」となります。あのドームでしか表せない時間をご覧になって頂ければと思います。



彫刻家 大間光記氏より

近年、私の作品は「もののうつろい」がテーマになっています。ものが少しずつ移り変わりゆく様にとっても魅力を感じ、その移ろいを形に留めたいと考えて制作しています。また私が石を彫ることで石に刻まれる跡や、石を彫ること自体の行為もとても重要な要素と考えています。

今回の展示作品は、瀬戸内の近辺に暮らすようになって自然とその瀬戸内の島々の景観に魅力を感じ、瀬戸内の風景からインスピレーションを受けました。海に浮かぶ島一つ一つが瀬戸内の自然の移ろいの中で日々変化してゆく細胞のように見え、その移ろいゆく過程を形に留めたいと思い制作しました。高松市香川町川東下にありますザ・チェルシー5階のザ・リチャードに展示させていただきました。この人と自然との営みの静かで異質な空間を楽しんでいただければと思います。



アートと食のプログラム「SANUKI EMERGING DINING 2022~日替わりシェフのレストラン」

WeBase 高松 副支配人 金藤大弥 (カネトウヒロヤ) 氏

株式会社 No Code 代表取締役社長 兼 Chef+(プラス)の米澤文雄 (ヨネザワフミオ) シェフ

WeBase 高松 副支配人 金藤大弥氏よりコメント

芸術を軸としたイベントの中で、なぜ食のイベントなのかと疑問に感じられるかもしれませんが、SANUKI EMERGING DININGも「食は芸術」という考えを背景に取り組んでいます。芸術としてとらえる機会が少ない食ですが、すごく身近な表現であって、長い生活の歴史の中で培われてきた、生活芸術です。彫刻や絵画などと同様に、日常的な食がもつ「芸術の力、すなわち、人の心を動かす力」を発信していきたいと考えています。今回ご参画いただいた、米澤文雄シェフや地元を代表する料理人の方々、飲食のプロを目指し前のめりに活動されている方々は、「あらゆる讃岐を食べるコース料理」や「さぬきの新B級グルメ」といった料理を通して、そんな願いに全力で応えようと力を尽くしてくれています。讃岐の「食」の楽しさや豊かさが満載の日替わりシェフのレストラン。ぜひご期待ください。

株式会社 No Code 代表取締役社長 兼 Chef+(プラス)の米澤文雄シェフよりコメント

香川と言えばオリーブ、うどんがメインのようなイメージがあると思いますが、キャビアのような隠れた魅力ある食材なども取り入れていきたいと思っています。なるべく生産者に寄り添った食事を提供したい。3年程前に香川のキャビアを知って、今回はそのキャビアを使用した食事もお出します。今日はそちらを試食用にご用意いたしました。エクレアの生地をひいて燻煙キャビアと卵とバターを使用してそれぞれがきちんと引立つようにした逸品です。10月のコース料理の提供ではこの品を含めて数種提供いたしますので是非食事しにお越しく下さい。



金藤大弥氏



米澤文雄シェフ

現代美術作家ヤノベケンジ氏の作品が描かれたラッピングバスにて

秋会期中、高松エリアと琴平エリアを結ぶラッピングバスが登場します。ラッピングバスを企画し「日帰りバスツアー」を運行する琴平バス株式会社代表取締役 CEO 楠木泰二郎（クスノキタイジロウ）氏より、ラッピングバスや日帰りバスツアーに込めた想いと秋会期への意気込みについてお話いただきました。その後、ラッピングバスのデザインについて現代美術作家ヤノベケンジ氏より感想をお伺いし、瀬戸内国際芸術祭初のメタバス企画となる「琴平メタバス」について、株式会社瀬戸内アートコレクティブ 代表取締役の片倉恒氏からご説明いただきました。

琴平バス株式会社代表取締役 CEO 楠木泰二郎氏よりラッピングバスの企画と運行への思い

心がつながる街ごととアートをテーマにしているように、今回は金刀比羅宮にヤノベ先生のアートが展示され、このラッピングバスにもヤノベ先生のアートが描かれました。高松と琴平をつなぐことと、人と人がつながることをまさに表現したアート作品、企画になっています。高松と琴平をつなぐこのラッピングバスはヤノベ先生の作品をちりばめたとてもカッコ良いアートに仕上がりました。琴平エリアも高松エリア同様に盛り上がっていますので、是非この期間にバスツアーをご利用いただいて両エリアを満喫してください。琴平町の染物屋、お土産屋、ワークショップなどでもグッズ販売を行いますので、是非お立ち寄りいただきたいです。



現代美術作家ヤノベケンジ氏よりラッピングバスのデザインについて

瀬戸内国際芸術祭の県内周遊事業として作品を展示させていただき、すでに夏会期から高松丸亀商店街ですでに展示しています。過去の作品ではロボットやドラゴンなどの大きい作品を作ってきました。2013,2016,2019,今回の芸術祭に関わらせていただいている、とても馴染みの深い芸術祭となっています。このバスは素晴らしいとしかいいようがなく、一言では言い表せません。なぜならデザインされている一つ一つが、様々なバックグラウンドがある中で作り上げた想いを込めた作品だからです。2013は香川県の小豆島エリアでビートたけしさんとご一緒し、島の人々の思いに支えられながら作品を制作しました。2016年は高松市美術館で映画の撮影を実施したりと色々な歴史があります。



本イベントのおいでまい祝祭に協力しているWeBase 高松 ホテルとは2018年のオープンした時からパブリックアートでもご一緒し、旅の守り神「SHIP'S CAT」をテーマにデザインした見返り猫「SHIP'S CAT (Returns)」を制作しました。今回エリア拡大となる琴平の金刀比羅宮で奉納展示される「KOMAINU」と和紙で作られた「SHIP'S CAT」が描かれ、とても力強いラッピングバスとなりました。香川県の高松と琴平をつなぐバスツアーを楽しんでいただきたいと思います。

瀬戸内アートコレクティブ 代表取締役の片倉恒氏より 琴平メタバスについて

瀬戸内アートコレクティブは現代アーティストを育てネットワークを活かす取り組みを行っており、今回「琴平メタバス」を企画しています。島で展開しているアートから街へ展開していくのが周遊事業ですが、私たちはさらにデジタル上で展開することを目的としています。コロナ禍や遠方、身体不自由な方にお越しいただくことが難しいため、メタバスの世界で見せていくことで、いろんな方に関わってほしいという背景で始めています。この企画は琴平町の観光スポット約20ヶ所マッピングして、すごろくのようなゲームをしていただくことで街を巡るような仕組み作りをし、最後まで行った方の中からNFTアートをプレゼントするという企画もつけています。若手のアートをNFTで配信することで、アーティストの価値を広げられるなど、いろんな形で相乗効果がでるような企画にもなっています。秋会期は琴平エリアでは中野うどん学校や琴参閣で、高松エリアはザ・切尔西で体験可能ですので、是非行ってほしいです。



琴平エリア～イベント終了

最後に今回の企画の大きなイベントとなった『ヤノベケンジ奉納展示式典およびレセプション』が金刀比羅宮にて執り行われました。ヤノベケンジ氏から奉納展示に向けた思いをお話いただき、その後、金刀比羅宮 宮司 琴陵泰裕（コトオカヤスヒロ）氏と琴平町 町長 片岡英樹（カタオカヒデキ）氏にもご挨拶いただきました。また、両企画にアートマネジメントに関わって頂いた瀬戸内アートコレクティブ代表 片倉恒氏から総括と今後の抱負・期待をお話いただきました。



現代美術作家ヤノベケンジ氏より奉納展示に向けた思い

人々の祈りが集まるような神聖な場所でこのような大きな規模での展示は初めてであり、夢のような現実のようなどとも不思議な感覚です。この作品は、左右2体が1対となる「狛犬」をモチーフに、地球環境の悪化、人類の分断や対立、国際紛争などから世界の守るための守護獣として2019年に彫像されました。比叡山延暦寺(京都、2019年)、新型コロナ第1波時の瓜生山(京都、2020年)、ウクライナ侵攻直後の清水寺(京都、2022年)等、激動の時代に世界の安寧と人々の守護を祈念するため展示されてきました。この度、人々が再び自由に行き交うことを祈念し、金刀比羅宮に奉納させていただきました。



芸術が存在する意味を含めて伝えられたらと思います。瀬戸内国際芸術祭が新たにここから始まるという意気込みでやっていきたい、この機会をいただき本当に感謝しています。そして世界に芸術の力を使ってより良い世界になるよう発信していきます。また表書院には「SHIP'S CAT (Thinker/Sleeper)」を展示しています。害獣から船を守り、船員の心を癒す友として、人間と共に世界中を旅してきた「船乗り猫」をモチーフに2017年より開始された作品シリーズです。旅の守り神として、あるいは、福を運ぶ猫として、旅の出会いや道中を助け、混迷する時代においても、人々を導いて欲しいという願いが込められています。そして、アートをサポートしてきた金刀比羅宮の中でも円山応挙が描いた襖絵のある「虎の間」に展示ができて、大変光栄に思います。

金刀比羅宮 宮司 琴陵泰裕氏よりご挨拶

こちらの作品を夏頃にヤノベ先生から奉納いただけるというお話を聞き、とてもインパクトのある作品で奉納してよいか少し迷った部分もありましたが、世の中の閉塞感、どうしようもない現実を打破してくれるのではないかと思います。奉納していただくことを決めました。実際の展示をみてとても感激しています。10月10日に大きなお祭りがあり素晴らしく絵になるイベントになりますので、是非お越しいただきたいです。大変な世の中ではありますが、現状を打破するような強い気持ちを持って過ごしていきましょう。



琴平町 町長 片岡英樹氏よりご挨拶

今年の夏は久しぶりに行動制限がないということもあり、金刀比羅参りにもきていただき少しずつ良くなってきています。瀬戸内国際芸術祭については島での盛り上がりがあるものの、なかなか琴平まではお越しいただけないと思ってたので、このような機会がただけて本当に嬉しいです。

歴史と文化に現代芸術を絡むようなご縁がただけて大変感謝しています。とても琴平の皆さんもびっくりしているのではないかなと思います。3年後の芸術祭でも是非一緒させていただきたい。琴平もコロナでとても大変ではありましたが、旅行の活性化にもご協力いただき、邁進していきたいと思っております。



今回のヤノベケンジ氏の作品『KOMAINU - Guardian Beasts - 』および『SHIP'S CAT (Thinker/Sleeper) 』の2対4体を由緒ある金刀比羅宮に奉納展示できる運びとなりましたのは、「瀬戸内国際芸術祭2022 県内周遊事業のおいでまい祝祭 2022」と琴平町観光協会の「KOTOHIRA EMPOWERMENT PROJECT」それぞれの取り組みを高松市内にある宿泊施設 WeBase 高松がつなぐことで実現いたしました。

瀬戸内国際芸術祭は9月29日に秋会期がスタートいたしますが、琴平町と高松市の商店街、高松空港や様々な施設の随所にアートスポットを散りばめ、周遊していただきながら楽しめるイベントとして展開してまいります。また、ヤノベ先生の作品で埋め尽くされたラッピングバスが琴平町と高松市内間を結びます。琴平町では、各所でアート作品の展示やワークショップなどの企画、限定のヤノベ先生のグッズなども沢山ご用意されています。

この2年半、コロナ禍の中で私たちの生活はいろいろと変化いたしました。アート、芸術の持つストレートな力で人や街を元気にしたいというのがおいでまい祝祭 2022 のテーマです。

ヤノベ先生の作品展示のお披露目を終え、おいでまい祝祭 2022 は、9月29日から11月6日まで行います。琴平町でのメタバースなどのイベントは瀬戸内国際芸術祭終了後も続きます。是非、期間中、そしてその後も香川県一円に沢山の方が訪れ、伝統や文化、新旧織り交ぜた芸術に触れていただけるきっかけになることを願い、レセプションを締めくくらせていただきたいと思います。



KOMAINU - Guardian Beasts -

SHIP'S CAT (Sleeper) SHIP'S CAT (Thinker)

瀬戸内国際芸術祭 2022 県内周遊事業

芸術の力で心と心をつなげる現代アートの祭典

「おいでまい祝祭2022 ～心がつながる街ごとアート～」秋会期

秋会期開幕期間：2022年9月29日（木）～11月6日（日）39日間

秋会期開催場所：高松エリア 高松丸亀町商店街、丸亀町グリーン、

WeBase 高松、南新町商店街

琴平エリア 金刀比羅宮ほか

空港エリア 高松空港、ザ・チェルシー

公式情報

HP : <https://shukusai.com>

Instagram : <https://www.instagram.com/oidemaishukusai>

Twitter : <https://twitter.com/oidemaishukusai>

Facebook : <https://www.facebook.com/oidemaishukusai>

ハッシュタグ：#おいでまい祝祭2022、#oidemaishukusai2022



SANUKI EMERGING DINING 2022 ～日替わりシェフのレストラン～

開催期間：2022年10月1日（土）～11月6日（日）

開催場所：WeBase 高松の2Fラウンジスペース

出店：

現代を代表するスターシェフ

米澤 文雄[株式会社 No Code 代表取締役社長 兼 Chef+(プラス)]

ローカルスター料理人

HIDETOU[食文化仕掛け人]、中井 雅俊[粋な海鮮酒場 ものっそ]、傳寛 恭平[魚伝]、寺尾 直城[Mio. Paese]、稲垣 希[精進カフェ 宙 sora]、多田 龍司[SHU1 café]、佐々木 祐紀[SANUKI]、RAMSES(ラムセス)[食の仕立て屋]with ヨーコ(小池よう子)[食農ライター・食農コーディネーター]

New Comer

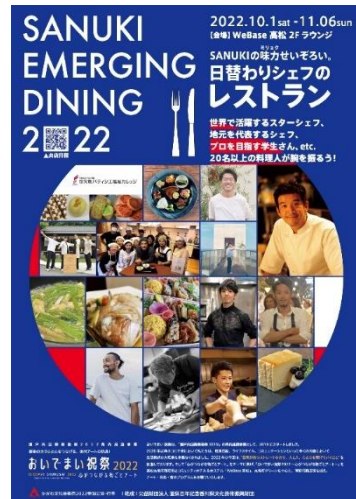
大達 蒼斗[Aotowa]、細川 祐里、船波 侑希[ユキノハギ]、久米 佑輔[いこい]、専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ[パティスリーパテタマ]

Spin off

特定非営利活動法人 キープ・ママ・スマイリング

詳細/お申し込み方法

<https://we-base.jp/takamatsu/news/3912/>



コトバス 日帰りバスツアー詳細

開催期間：2022年9月29日（木）～11月6日（日）

スケジュール：

高松市内出発（9：00～9：30頃）

琴平（10：30頃）

到着後フリータイム（15：30発）

高松市内到着（16：30頃～17：00頃）



https://www.kotobus-express.jp/yanobekenji_at_kotohira/

琴平メタバース

開催期間：2022年9月29日（木）～※本企画の終了時期は未定

実施場所：

【琴平町】

- ・中野うどん学校 B館入口（香川県仲多度郡琴平町720-1）
 - ・ことひら温泉 琴参閣（香川県仲多度郡琴平町685-11）
- ※宿泊者限定

【高松市】

- ・ザ・チェルシー（香川県高松市香川町川東下1878）

琴平メタバース × NFTアート

『琴平初！メタバース×NFTアートを無料で体験』

『琴平メタバース』は、「讃岐のこんぴらさん」で有名な金刀比羅宮の門前町として栄えてきた歴史と文化を持つ琴平町の魅力的な観光スポット約20カ所をメタバース上のすごろくゲームとして表現したものです。最後まで遊んだ方には、数量限定で瀬戸内アートコレクションの作家による「NFTアート」もプレゼント。 <https://www.setocole.com/>



<本件に関するお問い合わせ先>

おいでまい祝祭2022 PR事務局 担当：篠崎・登坂

TEL：03-5157-8531 FAX：03-3580-7602 携帯：090-4061-6389 MAIL：shukusai@raysum.co.jp